報告資料２

令和８年度　第１回区自治協議会会長会議（概要）		
日　　時	令和８年７月１０日（金）午後３時００分　～　午後５時００分	
会　　場	新潟市役所本館　３階　対策室１	
出席者	会長	坪木　俊郎 北区会長、　佐藤　清　東区会長、 山岸　希　中央区会長、　中野　高子 江南区会長、 渡邉　彩　秋葉区会長、　関川　秀明 南区会長、 風間　一夫 西区会長、　吉田　金豊 西蒲区会長
	事務局等	市民生活部長、市民協働課長ほか
傍聴者	０名	
報　　道	１社	
主な議題	１　開会 ２　議題 （１）　令和８年度全体委員研修会の振り返り（報告） ・資料１「令和８年度　新潟市区自治協議会　全体委員研修会の記録」に基づき、同研修会の開催概要、アンケート結果等の主な項目について、事務局から報告しました。 ・「研修会の内容」「体験ブースの内容」については、約９割の参加者が、「非常によかった」又は「よかった」と回答しました。一方で、「各ブースがすぐに終わってしまい、時間が余った」という声もありました。 ・講演についても好評で、「講演・質問の時間がもっとあったら良かった」という回答がありました。 ・「研修会で取り扱ってほしいテーマについて」は「防犯」「地域交通」が一番多い結果となりました。 ・今回の研修会のご意見をふまえ、次年度の研修に向けた改善点などの意見、感想を話し合いました。 ・今回の研修会は、初となる体験型で行い、体験をとおして地域の防災を考えていただくとともに、防災意識のさらなる向上を図るうえで、有意義な機会になった、と事務局として総括しました。 ・研修会の記録は、７月以降の各区自治協議会で配布し、共有することとしました。 （２）　第１０期振り返り資料の方向性について（意見交換） ・資料２「第１０期振り返り資料の方向性について」に基づき、毎期末作成している振り返り資料について、見出し５「会長会議からの引継ぎ事項」を、どのような内容で作成するのか、事務局から検討事項として提示し、その後意見交換を行いました。	

・意見交換の結果、第１０期振り返り資料における会長会議からの引継ぎ事項は、「自治協２０年を記念する取組」をテーマとした内容を盛り込むことに決定しました。

※参考
・見出し5「会長会議からの引継ぎ事項」は、各期の振り返り資料の巻末に掲載されており、会長会議から全区の次期委員に向けて参考となる事項を引き継いだ内容となっている。

・第９期は、能登半島地震をふまえ、防災をテーマとし、関連する資料を掲載するなど、その期の活動において影響の大きかったテーマに関連した内容で作成している。

（３）　各区自治協議会の運営状況、提案事業の進捗状況について（情報共有）
・資料３「令和８年度各区自治協提案事業一覧表」、資料４「令和８年度会議体設置状況一覧表」に基づき、今年度、各区自治協議会が重点的に取り組む事項について、各会長から報告がありました。

（北区）
・１年目は調査研究、２年目は事業を実施している。
・地域づくり部会では、新潟食料農業大学と連携し、北区産のトマトを活用した地域農業の振興と地産地消の推進に取り組んでいる。
・福祉教育部会では、地域による子育て支援の促進に向け、アンケートを実施し、子育て世代の声を届けるリーフレットを作成、配布する。
・自然文化部会では、住民が自然に親しみながら環境保全の意識を高めるため、スポGOMI大会を実施する。

（東区）
・広報紙編集部会では、各部会から３名を選出し、区だよりを活用した自治協のかわら版を年３回作成している。
・第１部会では、自転車のルールについて周知をはかるため、クリアファイルを作成、配布するとともに啓発活動を行う。
・第２部会では、こどもと高齢者の交流をテーマにスタンプラリーなど様々な体験ができるイベントを開催する。
・第３部会では、新潟空港の利活用をテーマに活動。新潟空港を身近な遊び場として多くの人に活用してもらえる場所にするため、イベントを開催する。

（中央区）
・第１部会では、にいがた2kmシェアサイクルの認知度の向上と利用者の拡大を目的とし、利用促進策の提案やイベント連携によるPRを行う。
・第２部会では、「こどもたちが地域のことを考えるきっかけづくり」を目的に、中学校での対話型授業を通じ、こどもたちが主体的に地域の良さや課題を考える機会を創っている。
・第３部会では、鳥屋野潟の認知度の向上と、鳥屋野潟をテーマとして活動している団体との交流、連携の促進を図るイベントを開催する。
・第４部会では、こどもと保護者を対象に、中央区の歴史や文化を認知

	してもらうきっかけとなるよう、謎解きイベントを実施する。 （江南区） ・１年目は地域課題の研究、２年目は課題解決に結び付けるための事業を実施。 ・まちづくり部会では、「江南区魅力発掘・発信プロジェクト」として、地域活動の担い手不足という課題に対し、地域活動運営のヒントを探るシンポジウムを開催する。 ・環境・教育部会では、「多世代交流“みらい”プロジェクト」として、若者の意見や若者が感じる地域課題を把握する場として、「まちCafe MTG」を開催する。 ・安心安全部会では、「誰でも安心して安全に暮らせるまちづくりプロジェクト」として、中学生による防災コンテスト「B-1グランプリ」を開催する。 ・「江南区まちづくりサポートプロジェクト」として、区内外の団体と連携し事業を実施している。 （秋葉区） ・区内の団体から課題解決につながる事業を募集し、連携して実施する「きらめきサポートプロジェクト」で５団体を採択し、取組を進めている。 ・金津小学校において「秋葉区防災訓練」を開催。小学生による「防災の歌」の披露や、液状化被災者の体験講話、災害資機材の講習などを行った。 ・こども真ん中部会では、こどもたちが歌やダンス、ファミリーショーを披露する、AKIHA FUJIN ROCK FESTIVALを共催する。 （南区） ・食の魅力発信とまちなかの賑わい創出を目的に「白ねこマルシェ」を開催予定。第１部会から第３部会までが参加する。 ・第１部会では、「白ねこマルシェ」での安心・安全意識啓発のほか、「クリーンアップ月間」を設け、清掃意識やモラル向上を目指す。 ・第２部会では、「夏休みのこども見守り事業」として小学生を対象に学習や交流の場を設け、見守りを行う。また、「南区ふれ愛月間」として、小学生の絵画、中学生の川柳展、親子で参加できる英語イベントも開催する。 ・第３部会では、区内の文化施設への訪問や、旬な農産物が味わえる日帰りバスツアーを実施する。 ・「南区まちづくり活動サポート事業」として、区のまちづくりや活性化を目的とした事業を募集し、５団体を採択、支援している。 （西区） ・昨年度に引き続き、発酵街道開（びらき）に関連したツアー企画や情報発信事業を進めている。今年度は黒埼地域からも参加できるような準備をしている。 ・区の魅力発信事業の中で、「大学生委員による魅力発信プロジェクト」として、昨年度大学生委員が作成した区内の魅力あるスポットを巡るコースを活用し、情報発信する手法を検討している。また、「地域の見える化プロジェクト」では、昨年度区内１５コミ協に向け実施した資源調査結果を整理し、地域の特色や魅力を可視化して発信する。

	（西蒲区） ・総務部会では、防災・減災をテーマとして、避難所についての情報交換を行い、情報共有の方法を検討、リーフレットを作成予定。 ・保健福祉部会では、「人の和でつながる安心・安全なあたたかいまち」を目指し、子育てをテーマとした事業に取り組む。 ・まちづくり産業部会では、にしかん応援隊制度のさらなる周知、活用につながる取り組みを行う。 **（４）　自治協議会１０期２０年を記念する取組について（意見交換）** ・区自治協議会１０期２０年を記念する取組について、意見交換を行い、以下の取組を進められるよう、今後さらに検討していくことになりました。 ・各区自治協議会のイベント等の情報共有を含めた交流、連携を積極的に行う。また、連携強化について共同宣言という形で発表する。 ・区自治協議会の８区共通ロゴマークを専門学校生に作成してもらい、共同宣言と同時に発表するとともに、次年度以降、ロゴマークを活用したPR活動を行い、自治協の認知度向上につなげる。 **３　その他** 次回の区自治協議会会長会議は、令和８年１１月６日金曜日に開催することが決まりました。 **４　閉会** **会議資料** ❒次　第 ❒資料１：令和８年度　新潟市区自治協議会　全体委員研修会の記録 ❒資料２：第１０期振り返り資料の方向性について ❒資料３：令和８年度各区自治協提案事業一覧表 ❒資料４：令和８年度会議体設置状況一覧表

資料１

令和８年度　新潟市区自治協議会

全 体 委 員 研 修 会 の 記 録

新潟市市民生活部
市 民 協 働 課

目　次

１　開催概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

２　体験ブースの様子・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

３　研修後アンケート結果と主な意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

1　開催概要

【目的】

「市民と市との協働の要」である区自治協議会の委員の皆様がより効果的な活動を実施できるよう、全区の委員を対象に研修会を開催するもの。

【概要】

〇開催日時・会場

・日　時　：令和８年５月１５日（金）　１３：００　～　１６：３０
・会　場　：黒埼市民会館　（新潟市西区鳥原９０９番地１）

〇プログラム

１　体験ブース

・６つの体験ブースを通し、防災に関する知識を身につける。

●新潟県防災ナビ体験　●マイタイムライン作成体験
●避難所体験　●自衛隊車両展示
●VR 消火体験　●起震車体験

２　「防災」をテーマに懇談

・進行役：区自治協議会会長会議座長　吉田　金豊　様
・登壇者：新潟市防災士の会会長　平井　孝志　様
　　新潟市長　中原　八一

３　講演

講演演題	発表者
新潟県避難者支援システムと 避難所アプリについて	新潟県防災局防災企画課 新潟市危機管理防災局防災課
「命を守る、避難のはなし」	日本防災士会新潟県支部 被災地支援部長　長濱　直也　様

〇参加者：８８名

（区別内訳）　（人）

北　区	東　区	中央区	江南区	秋葉区	南　区	西　区	西蒲区	合計
9(30)	11(30)	20(32)	8(30)	12(30)	8(28)	10(31)	10(30)	88(241)

※(　)内は R8.4.1 時点の各区自治協議会委員数

2　体験ブースの様子

各体験ブースの説明と研修会当日の様子をご紹介します。

【新潟県防災ナビ：多目的ルーム１】



○避難の際に必要な情報をひとつにまとめた「新潟県防災ナビ」でできることについて、説明を聞きました。
○アプリをダウンロード後、ハザードマップや避難所検索、河川の水位を調べる方法を確認しました。

【避難所体験：多目的ルーム２】



○ダンボールベッド、パーテーションや簡易トイレなど、避難生活で利用する物資を実際に使用してみました。
○新潟市防災士の会の方から、道具の使い方や避難所生活について説明していただきました。

【VR 消火体験：講座室１】





○株式会社船山様にご協力いただき、VR シミュレータによる消火体験を行いました。
○時間の都合上、抽選に当選した方のみの体験となりました。
○消火を採点する機能など、最新の防災訓練を体験することができました。

【マイタイムライン作成：講座室２・３】



○マイタイムラインは、水害に備えて、前もって取るべき行動を整理し、時間軸にまとめたオリジナルの避難行動計画です。
○新潟市防災士の会の方から、動画を使って、マイタイムラインやハザードマップについて説明していただいた後、いざという時のために、オリジナルの計画を作りました。

【自衛隊車両展示：屋外】





○陸上自衛隊から高機動車の展示にご協力いただきました。実際に乗車することもでき、災害時の様子などを聞くことができました。
○ホワイエでは自衛隊の災害派遣の様子をパネルにて展示していただきました。

【起震車体験：屋外】





○起震車による地震の体験を行いました。
○震度７まで徐々に強くなる地震を体験し、地震の恐ろしさや災害時の行動について、改めて考えるきっかけとなりました。

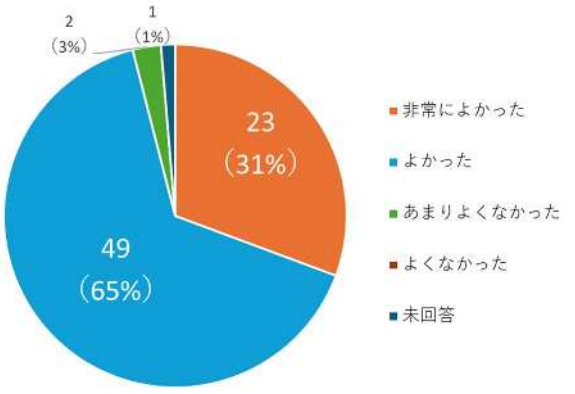
３　研修後アンケート結果と主な意見

回収率：85%（回答者数 75 名）

本日の研修会の内容はいかがでしたか？

- 非常によかった　２３件
- よかった　４９件
- あまりよくなかった　２件
- よくなかった　０件
- 未回答　１件

９６%が「非常によかった」又は「よかった」と回答

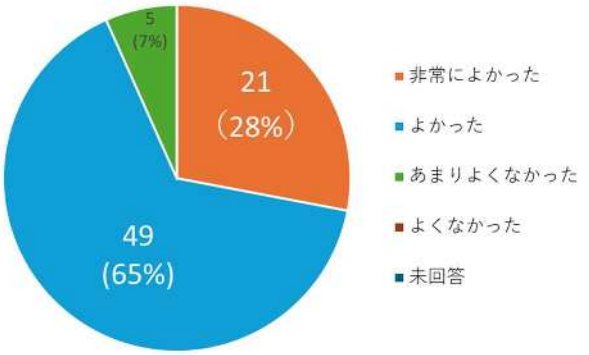


●素晴らしい研修でした。
●研修会は２時間ぐらいにしてほしい。
●時間が長かった為、内容の分散を感じた。
●待機時間が長かった。柔軟に対応してほしい。

体験ブースの内容はいかがでしたか？

- 非常によかった　２１件
- よかった　４９件
- あまりよくなかった　５件
- よくなかった　０件
- 未回答　０件

９３%が「非常によかった」又は「よかった」と回答



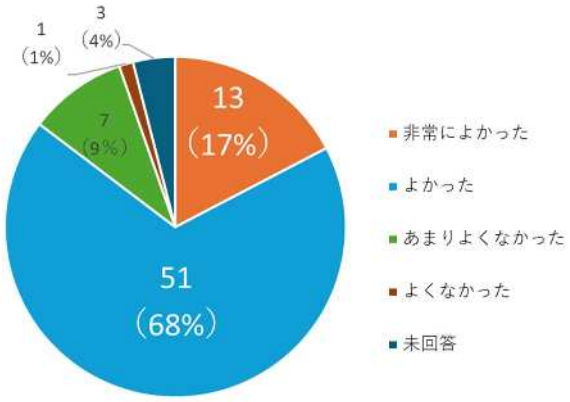
●貴重な体験ができてありがたかったが、各体験ブースがすぐ終わってしまい、時間がかなり余った。
●体験ブースの充実は面白く、発見も多かった。周囲の人と何とか防災意識 UP につなげられたら。まず自分自身の体験を隣の人、知人、友人に伝えたい。
●新潟市防災士の方から、実務的な話を聞くことができて良かった。
●VR 体験ができなかった。抽選だったのは残念。

●起震車体験震度７は非常によかった。多くの人に起震車の体験をしてほしい。
●実際に体験ができて関心意識が高まった。家族に共有できるのでよかった。
●防災はだれにでも大切な事なので、手の届きにくい方にも体験できるような仕組み（地域でできる取り組み）を考えなければと参考になった。

講演:「新潟県避難者支援システムと避難所アプリについて」の内容はいかがでしたか？

- 非常によかった　１３件
- よかった　５１件
- あまりよくなかった　７件
- よくなかった　１件
- 未回答　３件

８５%が「非常によかった」又は「よかった」と回答

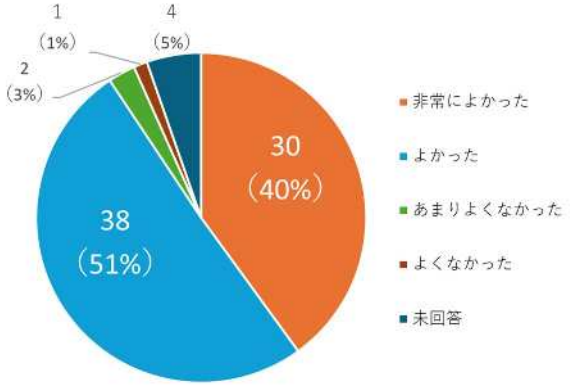


●避難所アプリは、これから一番必要。情報として信頼できる。
●避難所の wifi 環境の整備充実が必要。
●デジタルに頼りすぎるのは危険と思う。
●スマホがない人のためのシステムも考えてほしい。
●アプリインストールに関する資料があるが、高齢者には専門用語が多すぎて理解が難しい。
●避難所アプリについて、今後の進捗状況、問題等を報告する機会を！

講演：「命を守る、避難のはなし」の内容はいかがでしたか？

- 非常によかった　３０件
- よかった　３８件
- あまりよくなかった　２件
- よくなかった　１件
- 未回答　４件

他の設問と比較し、「非常によかった」の割合が一番高かった。

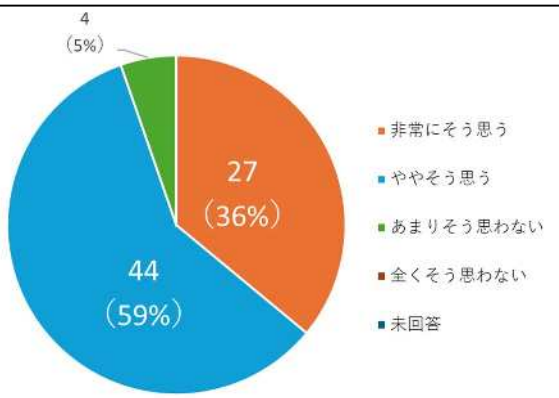


●時間が少なかった。
●講演・質問の時間がもっとあったら良かった。
●避難を必要とする方への対応など、もっと具体的な内容を聞きたかった。

ブースでの体験や講演は今後の自治協での活動に役立つと思いますか？

- 非常にそう思う　２７件
- ややそう思う　４４件
- あまりそう思わない　４件
- 全くそう思わない　０件
- 未回答　０件

９５%が「非常にそう思う」又は「ややそう思う」と回答

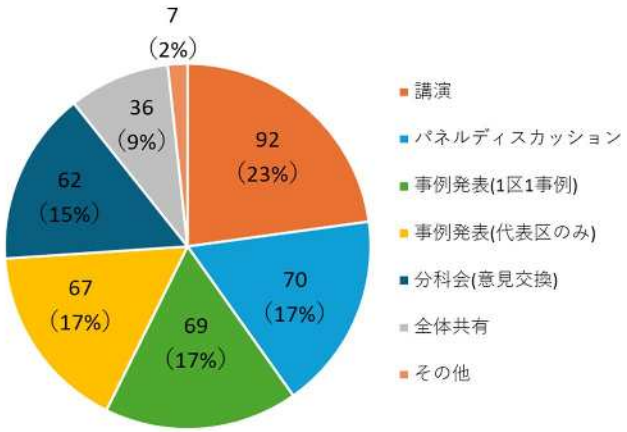


次年度の研修会はどのようなプログラムが必要だと思いますか？（第３希望まで回答）

- 講演　９２p
- パネルディスカッション　７０p
- 事例発表（１区１事例）　６９p
- 事例発表（代表区のみ）　６７p
- 分科会（意見交換）　６２p
- 全体共有　３６p
- その他　７p

※第１希望３ポイント、第２希望２ポイント、第３希望１ポイントとして集計

第１希望の回答数
講　　演　：２３件　　分科会（意見交換）：８件
事例発表（１区１事例）：１３件
事例発表（代表区のみ）：１２件　　全体共有：３件
パネルディスカッション：　９件　　そ の 他：１件

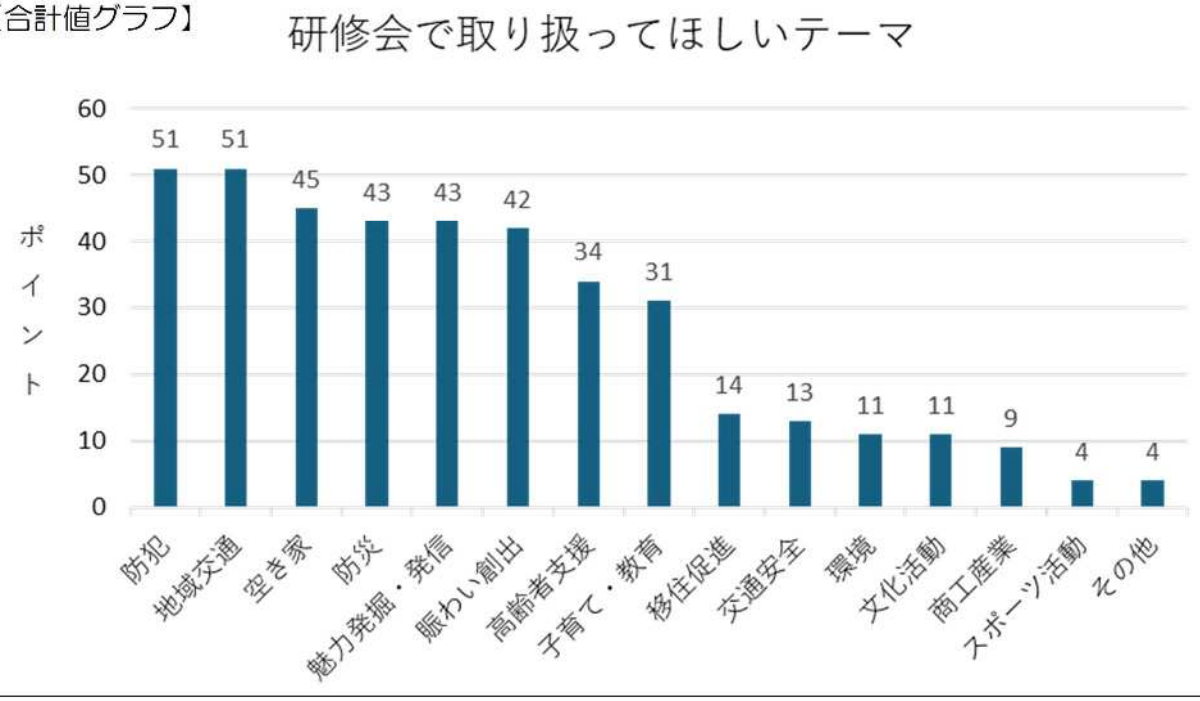


【その他】
- 体験プログラム
- 備蓄品の有効期限（入替時）その後の処理方法（消火器、水、非常食　他）
- 座って話を聞くよりも自ら興味のあるところへ行けるシステムがよいと思う。
- 新潟市の各自治協議会の自慢できる活動を発表し、良い活動を学び合い、全体でレベルアップしていくと良い。
- 体験型は、自治協議会と多組織の接点ができ、連携につながると思った。

次回の研修会でテーマを設定する場合、取り扱ってほしいテーマの番号を第３希望まで
ご回答ください。（下記の数値は、第１希望３ポイント、第２希望２ポイント、第３希望１ポイント
として計算した際の合計値です。）

	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	合計
防犯	３	５	７	２	１１	１２	６	５	５１
防災	５	９	１２	６	８	０	０	３	４３
交通安全	０	２	８	０	０	２	１	０	１３
高齢者支援	８	６	４	４	０	４	６	２	３４
子育て教育	４	５	５	１	６	０	３	７	３１
環境	０	０	２	０	１	３	０	５	１１
商工産業	５	０	０	０	０	０	３	１	９
地域交通	４	６	６	９	６	０	９	１１	５１
賑わい創出	１	４	２	６	６	３	９	１１	４２
魅力 発掘・発信	３	９	４	８	９	３	２	５	４３
空き家	３	８	１５	５	１	２	８	３	４５
文化活動	３	０	２	０	３	０	３	０	１１
スポーツ活動	０	０	０	０	０	４	０	０	４
移住促進	０	０	２	１	４	３	４	０	１４
その他	０	０	３	０	１	０	０	０	４

【合計値グラフ】



【その他の内容】

- 地域共生社会
- 避難所に関すること
- 自治会、町内会の担い手不足
- 公共施設の有効活用について
- 人口減少、観光地の活性化対策など
- 地域クラブについて
- 防災訓練においていろいろな自治会（コミ協）での訓練内容。

【第１希望の回答数】

- 防災：１２件
- 地域交通：１０件
- 防災：８件
- 魅力発掘・発信：７件

その他、研修会に関する主なご意見

【主な意見】

- ブースをより充実させてほしい。
- 気づきの多い研修会だった。防災についていかに多くの人たちに正しい情報を発信し、キャッチしていただけるのか、いつ災害が起きても対応できるようにどう準備をするか、個々にどう意識を持ってもらえるか、自治協でできること！課題。
- 体験ブースの充実は面白く発見も多かった。周囲の人と防災意識 UP につなげたい。
- 子どもが一人でいる時の“子供防災”について、各区機関の情報がほしい。研修会もあったら心強い。
- 家の防災、学校の防災、地域の防災にどう落とし込もうかと思うきっかけになった。
- 楽しさに加えて、自分ごととして考えるための方策を他の方から聞いてみたかった。
- まずは逃げるというところと、できることを子どもたちと共有できるとよいと思った。
- 居住地だけでなく、生活圏で考えられるようになるとよいと思った。

資料２

第１０期振り返り資料の方向性について

１　概要

本資料は、各区自治協議会における２年間の活動を振り返り、取組の成果と課題を次期委員へ引継ぐことを目的に毎期末作成しているもの

２　全体構成

見出し			記載内容
例年作成部分	1	はじめに	２年間の活動・取組の方向性
	2	取組内容・成果・課題	①全体会について ◆会議運営、建議要望事項、区委員研修会などにかかる取組、成果、課題を記載 ②部会・提案事業について ◆各部会の所掌分野、審議内容、運営上の工夫、提案事業の目的及び名称を記載 ※提案事業については、事業評価書を添付するため、成果・課題は記載しない
	3	おわりに	各区の次期委員へ特に引き継ぐべきこと
	4	事業評価書	２年分の提案事業の実績・成果・課題
検討	5	第１０期を振り返って	自治協２０周年を記念する取組について

※過去の引継ぎ事項は下記のとおり

期	引継ぎ事項	関連テーマ
第９期	区自治協議会（第９期）を振り返って ～令和６年能登半島地震をふまえた防災意識の向上～	防災意識の向上
第８期	区自治協議会の活動・運営における課題解決に向けた情報共有（委員アンケート、部会での意見交換内容）	新総合計画策定
第７期	新型コロナウイルス感染症による区自治協議会の諸課題に関する情報共有について	新型コロナウイルス
第６期	区自治協議会のあり方検討・制度の見直し	新潟市区自治協議会条例の一部改正
第５期	区自治協議会のさらなる活性化について ～「地域代表としての役割」を果たすための委員の心構え～	地域代表としての役割の徹底

令和8年度各区自治協提案事業一覧表

資料３

区	事業名等	事業概要等	弾力的運用
北　区 （計　1,800千円）	大学連携による地域活性化事業 （600千円）	新潟食料農業大学と区自治協議会が地域の課題解決に向けて、課題を共有し、地域社会とのつながりを深めるイベント・企画などの事業を実施します。令和8年度は、県内有数の生産量を誇る北区産トマトを活用した料理の提供や情報発信を通じて、地域農業の振興と地産地消の推進に取り組みます。	
	地域におけるこども・子育て支援事業 （600千円）	地域がこどもの健やかな育ちや子育て世帯を支える”社会の厚み”として機能することを目的に、事業を実施します。令和8年度は地域による子育て支援の促進に向け、子育て世代の声を届けるリーフレットを作成・配布します。	
	北区自然（水辺）環境の活用・魅力発信事業 （600千円）	北区内の自然（水辺）を活用し、住民が自然に親しみながら環境保全の意識を高めるため、海辺の森・島見浜海水浴場においてスポGOMI大会を開催します。ごみ拾いをスポーツ感覚で楽しみながら、環境美化や環境保全への関心を高める機会を創出します。	
東　区 （計　3,000千円）	区自治協議会提案事業 （3,000千円）	区民と協働し、東区の地域課題の解決やまちの活性化について、3つある専門部会が所管する分野を中心として取り組みます。令和8年度は、各専門部会において「交通安全（自転車のルール等）」、「こどもと高齢者の交流」、「新潟空港の利活用」をテーマとする取り組みを実施します。	
中央区 （計　1,525千円）	区自治協議会提案事業 （1,525千円）	区自治協議会が地域の課題解決や活性化につながる取組を提案し、深掘り調査や効果検証するためのモデル事業などを実施します。自治協委員で構成する専門部会において、各分野における身近な課題を洗い出し、取組テーマを決め、課題解決を図っていきます。 【第1部会】まちなかの回遊性向上と公共交通の補完に資する移動手段として、「にいがた2kmシェアサイクル」の認知度向上と利用者の拡大を目的とした利用促進策の提案やイベント連携によるPRを実施します。 【第2部会】「こどもたちが地域のことを考えるきっかけづくり」を目的として、中学生を対象に、対話型授業を通じて、こどもたちが主体的に地域の良さや課題を考える機会を創出します。 【第3部会】鳥屋野潟の認知度向上と鳥屋野潟をテーマに活動している団体の交流・連携の促進を図ることを目的としたイベントを開催します。 【第4部会】こどもとその保護者を対象に、中央区の歴史や文化を認知してもらうきっかけとなるよう、まち歩きをベースに謎解きやクイズの要素を取り入れたイベントを実施します。	
江南区 （計　5,000千円）	江南区魅力発掘・発信プロジェクト （1,000千円）	区内への来訪者増加、関係・交流人口の拡大に向けて、地域の魅力を掘り起こし、発信するなど、まちの活性化につながる取組を実施します。 ＜R8実施事業＞ 地域活動運営のヒントを探るシンポジウムの開催 テーマ：未来の地域（まち）をみんなでつくる ー次世代につなぐ新しい担い手のカタチー 　地域活動に参加する人の固定化や、若い世代の参加減少など、まちづくりにおいては担い手不足といった課題があります。この課題解決の糸口を探るため、他都市の成功事例や地域活動経営のアイディアを共有するシンポジウムを開催します。	
	多世代交流“みらい”プロジェクト （1,000千円）	子どもから高齢者まで、多世代が交流する事業を検討・実践することで、コミュニティの維持・向上と、暮らしやすい“みらい”の地域づくりにつなげます。 ＜R8実施事業＞ 若者が地域の未来について気軽に話せるミーティングを開催 タイトル：きかせて！若者の声は未来の声　まちcafe MTG（ミーティング） 　若い世代と接する機会が少なく、その声を地域づくりに十分生かせていないといった課題があることから、まずは若者の意見や若者が感じる地域課題を把握する場を作ります。ミーティングでは江南区の特産品を使ったアフタヌーンティーを楽しみながら行うことで、さらに地域への理解も深めます。	
	誰でも安心して安全に暮らせるまちづくりプロジェクト （1,000千円）	すべての人々が安心して暮らせるよう、防犯、防災、交通安全、福祉などの分野での啓発活動を通じ、安心安全・防災意識の向上を図ります。 ＜R8実施事業＞ 中学生による「防災コンテスト」を実施 　いつ起こるか分からない災害に備えるためには、防災活動に対して当事者意識を持ち、能動的に行動することが必要です。そこで、中学生をターゲットとして、防災活動をより身近に感じてもらうため、「防災」をキーワードとした中学生ならではの発想力によるアイデアコンテストを実施します。	
	江南区まちづくりサポートプロジェクト （2,000千円）	区内外の団体の多様な資源やアイデアを活用し、効果的な事業展開を図ることで区の課題解決を図ります。 連携団体：コミュニティ協議会、NPO法人、市民活動団体、公益法人、企業等 ＜R8実施事業＞ ・株式会社 北都 『江南区の昔話　紙芝居動画プロジェクト』 ・特定非営利活動法人　あおぞら 『曽野木の羊毛を活かした地域循環型（地域資源×福祉）ものづくりと交流拠点づくり事業』	○

区	事業名等	事業概要等	弾力的運用
秋葉区 （計　5,900千円）	①「きらめきサポートプロジェクト」と「地域活性化事業『秋葉若人塾』」 （1,400千円）	「きらめく」秋葉区に向けて、地域の様々な課題の解決につながる事業を区内の団体から募集して、区自治協議会が協働しながら、地域の人材を発掘し、継続的に取組が進められるよう支援します。また、まちづくりの担い手となる次世代が地域で活躍できるように、人材育成に取り組みます。 連携団体：区内事業実施団体（今年度5団体採択）	○
	生活交通の検討と防災講座 （500千円）	秋葉区の公共交通に関する課題の把握や解決策の検討、他地区の先進事例の研究を行う。さらに、区内の公共交通利用を促進するため、効果的な情報提供を行う。また、防災講演会や避難所運営訓練などを開催し、区民が災害時の行動を習得できるよう支援します。	
	Akihaくみん大学 （350千円）	秋葉区の特色や史跡・旧跡、魅力ある歴史を学んでもらうことで地域への愛着や興味関心をさらに高めるとともに、学びを次世代に引き継ぐ、未来につながる主体的な学びの機会とします。	
	コミュニティFMを活用した自治協議会PR事業 （800千円）	コミュニティFMを活用し、自治協議会の活動やかわら版「あきはくはつものがたり」のPRを行います。	
	秋葉区未来ビジョン （2,200千円）	各コミュニティ協議会で策定した「コミュニティ未来ビジョン」アクションプランについて、実現に向けて地域と協働し実施を図ります。また、取組状況を発表するなど、交流の場を設け、各コミュニティ協議会相互の連携強化を図ります。 連携団体：区内地域コミュニティ協議会（現在4コミ協採択）	○
	こども真ん中プロジェクト （650千円）	こどもの成長と幸福を最優先に考えた様々なイベントを開催することで、地域全体で子育てを支援する風土を育み、こどもたちが地域に対して愛着を持つことを促進します。 連携団体：区内子育て支援団体（2団体）	○
南　区 （計　5,000千円）	安心・安全意識啓発事業 （500千円）	防災や防犯意識を高めることを目的に、「白ねこマルシェ」に出展し、防犯アプリの紹介など防災や防犯の意識啓発活動を行います。	
	しあわせなまち・きれいなまち美南区クリーンアップ月間事業 （500千円）	清掃意識やモラル向上に繋げることを目的に10月を強化月間として、南区民や南区で活動する団体（事業者・サークル・スポーツ団体など）が参加する清掃活動を南区全体で実施します。	
	南区ふれ愛月間事業 （500千円）	人と人のつながりを大切にし、温かい交流が生まれることを目的に、区内小中学生の絵画・川柳展を11月に開催します。11月7日（土）には同会場で親子で参加できる英語イベント「はじめましてのえ・い・ご」を開催します。	
	夏休みこども見守り事業 （500千円）	子育て家庭の負担軽減と世代間交流を目的に、7月23日（木）、24日（金）、27日（月）、28日（火）に小学生の学習を地域人材で見守ります。	
	南区まちなかにぎわい創出事業 （500千円）	南区の食の魅力発信とまちなかの賑わい創出を目的に、区内農産物や地域の商店の飲食物が並ぶイベント「白ねこマルシェ」10月3日（土）に開催します。	
	南区魅力発見ツアー事業 （500千円）	南区の魅力発信と交流人口の拡大を目的に、区内の文化施設への訪問や旬な農作物などが味わえる日帰りバスツアーを10月19日（月）、20日（火）に実施します。	
	南区まちづくり活動サポート事業 （2,000千円）	南区の地域活動団体等が実施する区のまちづくりや活性化を目的とした事業を募集し、支援します。 連携団体：区内地域コミュニティ協議会、企業、団体	○

区	事業名等	事業概要等	弾力的運用
西　区 （計　3,600千円）	地域の防犯講演会応援事業 （50千円）	地域コミュニティ協議会の防犯講演会開催を支援することで、高齢者の特殊詐欺被害防止の啓発を行う。	
	高校生と連携した自転車盗難防止事業 （550千円）	自転車盗難が多く発生している区内の駅を利用する高校と連携し、自転車盗難防止の啓発活動を行う。 連携団体：日本文理高校、新潟西警察署	○
	自主防災組織の防災意識向上事業 （0千円）	防災士の非常時に備えた持ち歩き品例の動画を作成し、防災意識の向上、啓発活動を行う。	
	支えあいの大切さ普及事業 （300千円）	支え合いの大切さを広めるきっかけとして地域で行われるあいさつ運動を促進するため、区内のコミュニティ協議会・自治会・小中学校をはじめとした地域団体や事業者へ、のぼりや広報媒体の配布による支援を行いつつ、水平展開の協力を呼びかける。 連携団体：各地域団体等	○
	西区「すき間」コネクトプロジェクト （300千円）	区内の福祉・教育等の情報を収集し、ネットワーク化・一覧化させるなどして、必要な人に必要な情報を届けることを目指す。今年度は、部活動の地域展開が進む中学生世代に注目して、放課後の居場所づくりにつなげるため、情報の収集と整理を行う。	
	区の魅力発信事業 （600千円）	西区の魅力のある地域資源を再発見・整理し、区民や区内外へ効果的に発信するとともに、地域間や関係団体間での情報共有を促進することを目的とし、以下のプロジェクトを実施する。 ＊大学生委員による魅力発信プロジェクト …若い世代の視点を生かした魅力発信を実施するため、昨年度大学生委員が作成した区内の魅力あるスポットを公共交通機関を利用して巡るルート案を活用した情報発信の手法を検討・実施する。 ＊地域の見える化プロジェクト …区内15のコミュニティ協議会に向けて昨年度実施した、地域の実情や魅力的な資源などに関する調査結果を整理し、地域の特色や魅力を可視化して発信する、 ＊農業の魅力発信プロジェクト …西区自治協議会広報紙「西区を豊かに」に農家・農産物に関する特集記事を掲載し、西区の農業の魅力を区民に発信する。	
	西区を元気づける事業 （1，800千円）	西区を元気づけるため、秋ごろに実行委員会によって実施される「発酵街道開（びらき）」事業と連携し、来訪者や関係人口の増加を目標に、ツアー企画や情報発信事業を実施する。 連携団体：発酵街道開（びらき）実行委員会	○
西蒲区 （計　2,400千円）	住みよい・豊かな・活力あるまちづくり （800千円）	「観光とスポーツ・レクリエーションのまち」「人の和でつながる安心・安全なあたたかいまち」を目指すために、総務部会が所管する分野（防犯・防災、公共交通、教育、文化、スポーツなど）の調査研究等を行い、地域課題の解決に向けた取組を進めます。 令和8年度は、防災・減災をテーマとした事業に取り組む予定です。	
	あたたかな人の和でまちづくり （800千円）	「人の和でつながる安心・安全なあたたかいまち」を目指すために、保健福祉部会が所管する分野（保健、福祉、生活環境など）の調査研究等を行い、地域課題の解決に向けた取組を進めます。 令和8年度は、子育てをテーマとした事業に取り組む予定です。	
	にぎわいと活力があふれるまちづくり （800千円）	「魅力あふれる農水産物を供給するまち」「歴史と文化が生き続けるまち」「人が行き交い、にぎわいと活力があふれるまち」を目指すために、まちづくり・産業部会が所管する分野（まちづくり、農業、商工業、観光など）の調査研究等を行い、地域課題の解決に向けた取組を進めます。 令和8年度は、にしかん応援隊制度の更なる活用に向けて取り組む予定です。	

令和8年度　会議体設置状況一覧表

令和8年6月1日

		北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区
会議の呼称		本会議	全体会議	全体会議	本会議	本会議	全体会	本会	本会議
部会	1	地域づくり部会 ・商工業、農業 ・大学などとの連携 ・道路、土地利用 ・公共交通 ・防災	第1部会 ・コミュニティ（地域活動、市民活動） ・防犯・防災・交通安全 ・行政運営	第1部会 ・賑わい創出 ・交流人口 ・都市機能 ・など	まちづくり部会 ・道路 ・公共交通 ・産業振興 ・コミュニティ	第1部会 ・土地利用 ・水と緑・農業 ・環境・観光 ・産業・商店街 ・コミュニティ	第1部会 ・公共交通 ・防犯・防災 ・環境 ・建設・都市計画	第1部会 ・防犯・防災 ・自然環境 ・住環境	総務部会 ・防犯・防災 ・公共交通 ・教育 ・文化、スポーツ
	2	福祉教育部会 ・健康、福祉 ・子育て ・教育 ・協働 ・防犯、交通安全	第2部会 ・福祉・子育て ・教育・生涯学習 ・文化・スポーツ	第2部会 ・協働 ・子育て・教育 ・健康・福祉 ・防災・防犯 ・生活環境 ・など	環境・教育部会 ・生活環境 ・教育・生涯学習 ・文化・スポーツ	第2部会 ・防犯・防災 ・健康・医療 ・福祉・住環境 ・生活基盤・生活交通	第2部会 ・健康・医療 ・福祉 ・教育 ・地域・男女共同参画	第2部会 ・健康・福祉 ・文化・スポーツ ・教育	保健福祉部会 ・保健 ・福祉 ・生活環境
	3	自然文化部会 ・環境保全 ・自然環境活用 ・観光交流 ・文化・スポーツ ・浸水対策	第3部会 ・商工業・農業・観光 ・住環境（公害、ゴミ、公園 ・都市交通・都市景観 ・自然環境	第3部会 ・水辺 ・緑化 ・など	安心安全部会 ・防犯・防災 ・交通安全 ・地域医療 ・福祉	第3部会 ・協働・男女共同 ・地域 ・行政運営 ・教育 ・文化・スポーツ	第3部会 ・産業 ・観光 ・文化 ・スポーツ	第3部会 ・産業 ・区の魅力発信 ・交通	まちづくり・産業部会 ・まちづくり ・農業 ・商工業 ・観光
	4	総務部会 ・協議会の運営 ・自治協議会だよりの編集 ・協議内容の検討	東区自治協議会広報紙編集部会 ・東区自治協議会だよりの編集	第4部会 ・歴史・文化 ・産業 ・まちなみ ・など	広報紙発行特別部会 ・江南区自治協議会だよりの編集	広報部会 ・秋葉区自治協かわら版の編集 ・コミュニティFMを活用した自治協のPR	広報部会 ・南区自治協だよりの編集	総務特別部会 ・本会の議事調整 ・協議会全体に係る事項の検討(アートフェスの検討を含む)	広報部会 ・西蒲区自治協だよりの編集
	5		東区自治協議会提案事業検討部会 ・自治協提案事業の連絡調整・検討	中央区自治協議会だより編集部会 ・中央区自治協議会だよりの編集	総務特別部会 ・突発的な地域課題への対応 ・自治協の運営に関する事務	秋葉区未来ビジョン部会 ・区内コミュニティ協議会からの事業提案の内容確認及び助言		広報紙特別部会 ・自治協広報紙の編集	調整部会 ・正副会長、正副部会長（常任部会）による部会間調整
	6					こども真ん中プロジェクト部会 ・イベントの企画・運営 （区内子育て支援団体と協働）			
運営会議（2役レク等）		※総務部会で対応	2役レク 全体会運営における ・方向性の検討・確認 ・協議内容の検討・確認	総務運営会議 ・会長・副会長・事務局による全体会議の事前打合せ	※総務特別部会で対応	運営会議 全体会運営における ・方向性の検討・確認 ・協議内容の検討・確認	2役レク 全体会運営における ・会議内容の確認 ・会議終了後に振り返り	※総務特別部会で対応	※調整部会で対応

は，常設部会（各委員がどこかに所属）　は，特別部会（代表委員によるものや，希望委員によるもの）　は，運営会議（代表委員によるもの）　●は，区独自の特色ある事項や事業（部会の所管分野）

資料4